

加 茂 小 だ よ り

～夢のある楽しい加茂小学校をみんなでつくろう～ 令和4年6月号

若葉青葉の候、保護者の皆様にはご健勝にてお過ごしのことと思います。平素は本校教育の振興にご理解とご協力をいただきましてありがとうございます。

さて、子どもたちが学校生活をより安全に過ごすために引き続き「マスクの着用」「手洗いの励行」を継続します。つきましては引き続き、清潔なマスクを毎日ご準備・着用させていただきますようお願いいたします。また、ハンカチもしくはタオルも毎日持参させていただきますようお願いいたします。昨年同様、これから高温多湿な時期に向かう関係上、体育や登下校時には熱中症の心配もあります。「可能な限り間隔をあける」「子ども同士向かい合わない」などマスクを一時的に外すなど子ども自身が判断しながら対応できるようにご家庭でもご助言をお願いいたします。また、マスク着用時はのどの渇きなども感じにくいとされていることから、水分補給をこまめに行う必要があります。水筒などの準備もあわせてお願いいたします。



さて、コロナ禍の影響でお子様がご家庭で過ごす時間が長くなり、家庭教育の重要性が特に強調されています。最近言われているのはスキンシップによる「セロトニン・オキシトシン」などホルモンの働きが赤ちゃんの心の安定につながるということです。また、われわれ日本人の先輩はずいぶん昔から子育てについて、いろいろな知恵をもっていたようです。「三つ子の魂、百まで」「かわいくば、2つしかりて、3つほめ、5つおしえて、よき人にせよ」「江戸時代：三つ心、六つしつけ、九つ言葉、十二・文、十五・理で末きまる」「乳児はしっかり肌をはなすな、幼児は肌を離せ、手を離すな、少年は手を離せ、目を離すな、青年は目を離せ、心を離すな」などですが、今でも、子育ての大事なポイントを示唆してくれているような気がします。さて、今日から6月が始まりました。梅雨の時期になりますと雨の日が多くなります。子どもたちは体調をくずしやすく、また、運動場や野外で遊べない日が続く、室内や廊下でのけがの心配も増します。けがは自分が負っても、人にさせてもつらいものです。「雨の日は、教室で静かにすごせるように学級で考えましょう。教室で静かに遊びましょう。」と指導しています。お互いが小さな我慢で支えあって、安全で安心して学校生活を送れる月にしていきたいと考えています。

セロトニン・オキシトシン

- ①話しかける
- ②見つめる
- ③ほほえむ
- ④ふれる
- ⑤親切にする



安定感・つながりを深める効果

＜加茂小学校創立記念日＞6月23日(木)は創立記念日です。この日は、お休みとなりますが、学校の良き伝統は、みんなで新たに作り上げるものです。保護者、地域の皆様のご支援のもと、みんなで「夢のある楽しい加茂小学校」となるようこれからも取り組んでいきます。引き続き、加茂小学校への温かいご支援をよろしくお願いいたします。

6月の行事予定 ※情勢により変更の場合もあります

日	曜	行事予定	日	曜	行事予定
1	水	1年3組参観・懇談	16	木	歯科検診
2	木	校区探検2年 耳鼻科検診1・4年	17	金	除去食の日
3	金	尿検査2次 ムーミンズ読み聞かせ 5年自然学校説明会(14:45 体育館)	18	土	
4	土		19	日	
5	日		20	月	クラブ活動②
6	月	校外学習4年(久代浄水場) 校区探検2年	21	火	
7	火	朝会	22	水	
8	水	校内研究授業(1~5年 13:30 下校) 校外学習3年(昆虫館)	23	木	創立記念日
9	木	眼科検診(1・4年)	24	金	校外学習6年(奈良方面)
10	金	カルティベート芸能鑑賞(3・4・5年 15:30 下校) 除去食の日	25	土	
11	土		26	日	
12	日		27	月	
13	月		28	火	校内研究授業(1・3~6年 13:30 下校) 除去食の日
14	火	水泳指導開始	29	水	
15	水	校外学習6年(加茂資料館) 引き渡 し訓練1・2年 里山体験学習①4年	30	木	

<7月の予定>

5日(火)~7日(木) 自然学校(三木ホースランドパーク) 8日(金)5年生健康観察日

11日(月)~14日(木) 個人懇談 15日(金) 個人懇談予備日 給食最終日 13:20 下校

18日(月) 海の日 19日(火) 大掃除 20日(水) 一学期終業式

<AI時代に求められる「感じる・連想する・共感する」こと>

「せんぷうきああああああああおおおお」これは読売新聞に掲載された子どもの俳句ですが、思わず頬が緩んでしまいます。それは誰もが共感するからです。「そういえば子どものころによくやったなあ」と連想してしまいますね。AIと人とを比較して「人は知識を関連付けること」に優れていると言われていました。関連付けるとは知識同士が結びつくことです。そのエンジンが「感じること」にあるとすれば感じることを子どもたちに育てる必要があります。

「感じること、連想すること、共感すること」は心の読解力と呼べるかもしれません。そしてこれからの子どもたちに必要な資質であるような気がしますね。